

(様式1)

校 種	④ ・ 中 どちらかに○	学校番号	6 2	学校名	宇都宮市立上河内中央小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	---------------

平成30年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

「人間尊重の精神」を基盤に、21世紀社会の担い手として、「心身ともに健康で、主体的に考え表現でき、ねばり強く頑張りぬき、自らの向上とよりよい社会の発展を目指し、たくましく生きる人間」の育成を図る。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・よく考え、学ぶ子ども（かしこく）
- ・自分をみつめ、つくせる子ども（やさしく）
- ・明るく、たくましい子ども（たくましく）

2 学校経営の理念

基本理念：「未来を担う子どもを育て地域に愛され信頼される学校」

自他の幸せの実現を目指し、変化の激しい21世紀を力強く生き抜くたくましい子どもの育成を目指す。そのために、全教職員の共通理解のもと、学習面においては、児童一人一人に応じたきめ細かな指導により基礎・基本の徹底を図るとともに、認め合い、学び合う集団づくりに努める。生活面においては、積極的なあいさつの励行や時と場に応じた言葉づかいの指導を充実させ、礼儀正しく、誰に対しても思いやりの心をもって接する態度を育てる。また、家庭、地域との一層の連携・協働を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針

「上河内地域学校園教育ビジョン」

かしこくたくましいゆずっ子の育成

—基礎を身に付け、人とつながり、夢に向かって生きる子どもを育てよう—

- ・児童一人一人のよさを認め励ますことにより、その伸長に努める。
- ・児童の主体的活動を尊重し、認め合い、学び合う集団づくりに努める。
- ・児童が、分かる・できる喜びを感じられるよう、授業において、個に応じたきめ細かな指導による基礎・基本の確実な習得と主体的・対話的で深い学びの実現に努める。
- ・自らの目標の実現に向けて粘り強く挑戦する心と体のたくましさを涵養する教育活動を推進する。
- ・教職員一人一人が、チームの一員として連携・協働しながら不断に指導力を向上させるとともに、勤務時間を意識した働き方を進めワークライフバランスの実現を図る。
- ・「小中一貫教育・地域学校園」と地域協議会を充実させ、地域とともにある学校づくりの推進に努める。

4 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（1）学校運営

- 地域の教育資源等を積極的に活用した地域とともにある学校づくりの推進
- 校内及び地域学校園研修を中心とした教職員の資質・能力の向上
 - ・特別支援教育及びいじめ・不登校対策の推進
 - ・月1回の学校リフレッシュデー（原則、全教職員定時退勤する日）の設定

（2）学習指導

- ・基礎・基本の確実な習得と主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
- ・学習内容が不十分な児童に対する個別指導の充実
- 学習の習慣化を図るための家庭学習の充実

（3）児童生徒指導

- ・学校や社会のルールやマナーを守り、相手のことを考えて生活できる児童の育成
- いじめを許さない規範意識や正義感、思いやりの心の育成
 - ・不登校を生まない互いを尊重し合う温かな人間関係の構築
 - ・情報モラルの育成
 - ・児童生徒の自信や自己有用感を高めることによる望ましい行動への意欲向上

（4）健康（体力・保健・食・安全）

- ・学校行事等を活用した体と心のたくましさの涵養
- 投力や持久力などの体力向上
 - ・健康指導、安全指導の推進（学校伝染病や熱中症予防、登校時の安全指導の徹底）
 - 食に関する指導の充実（好き嫌いせずバランス良く食べる指導の推進）

5 学習指導、児童生徒指導、健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

※ 様式2～4参照

6 特色ある学校づくり等に関する取組

（1）育てたい資質・能力（地域学校園内で共通するものは、文頭に○）

- ・地域と連携した活動の充実による郷土を愛する心の醸成
- ・自主的に考え行動する力や折れない心、粘り強くやり抜く心の育成
- ・思いやりの気持ちをもって助け合い協力する態度の育成

（2）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には文頭に◇）

○地域の教育資源等の積極的活用

- ◇農業体験【学校行事】、伝統行事（ぼうじぼ）【総合的な学習の時間】等における人材活用
 - ・地域の自然とのふれあい活動（羽黒山遠足【学校行事】、地域の公園等での体験活動【生活科】）
- ◇体験を振り返る活動や地域のよさを知る活動（作文等での表現活動【国語】、ふるさとカルタ取り大会【学校行事】）

○縦割り班「にこにこ班」の効果的活用

- ・学校行事における積極的活用（羽黒山遠足、農業体験、運動会、1年生お迎えの会等）

- ・清掃活動における日常的活用
- ・いじめゼロ集会での標語作成

7 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（地域協議会との連携・協働を含む）

①基本的考え

地域の伝統・文化、自然、施設等を生かすとともに地域で働く人の生き方に触れる教育活動を充実させるため、地域協議会と連携・協働した取組を充実させる。

②主な取組

- ・伝統行事「ぼうじぼ作り」実施
- ・羽黒山遠足の安全確保に係る支援
- ・田植え・稲刈り等の農業体験に係る支援
- ・持久走大会に係る支援
- ・「親学」に係る連携・協働

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

地域学校園において、学力が喫緊の課題であることから、学力向上部会を中心とした組織体制を構築し、指導の連続性・系統性を図った取組を一層充実させる。

②主な取組

- ・運営会議や部会など各種会議の実効性を高めた開催
- ・小中一貫教育カリキュラムの一層の充実
- ・各種学力調査の分析等に基づく共通実践の検討
- ・授業における学業指導の共通指導事項の検討
- ・スマホ等の使用に係る重点指導週間の同時期実施
- ・いじめや不登校の状況についての情報交換・情報共有の取組推進

(3) 不登校対策

①基本的考え

不登校又は不登校の兆しが見られる児童への対応を強化するため、校内での組織的対応や保護者と連携・協力した支援を充実させる。

②主な取組

- ・児童の状況に応じた家庭への電話連絡、家庭訪問の徹底
- ・校内ケース会議の迅速な開催と複数の教職員による支援体制の構築
- ・児童の状況に応じた登校刺激の実施
- ・保護者との相談会議の積極的開催